

東光寺たより62

文責 東光寺英隆

薄墨桜を見に連れてってもらえたんだ

隆和尚がボク達を連れて車🚗でビューンと♪さすがに見応え抜群でした。大勢のギャラリーで賑わっていました。そんなボク達は皆の人気者♪一緒に夜桜を愛でました🌸



何かくれませんか？

かんせいさん、ボクにおやつください。ああ。ちょっと待ってれよ。どーぞ♪やったあー嬉しいな🐶



タケノコを湯がきます♪

今シーズン初のタケノコを湯がきます。思ったより早く出てきて、自然の恵みに感謝しつつ頂戴します。今回は豊作でしょうか？豊作を願う住職でした♪そして窯を出してきて煮るとします♪

諸々の門出が光で溢れますように♪

先日のお参りは50回忌のお弔いでした。付随して息子さんの13回忌の供養も兼ねて。時は人生の船出を祝して施主が孫たちに、はなむけの品を用意していました。進学や就職も目白押しです。住職は、無事安寧を祈念して心経を至心に誦んだのであります。



4/8 は花祭り ♪

近所の老人ホームに於きまして表記の會を厳修しました。たまたま当日がお祝いする日に重なりまさに慶賀の至で、当日は独歩でやってくる利用者さん、車椅子で、押してきてもらってやってみえる方と様々でしたが、皆一様に敬虔な面持ちでお参りしていただきました。もう片手以上に開催をして、その都度、お参りされる面々は変わってゆきますが、こういった伝統行事は移ろい変わることなく脈々と続いていく事の大事さを感じた住職でした♪



花祭りと並行して当日4/8は住職の結婚記念日でありました。難有い事にもう 25 年以上の長きに渡り、この日が来ると桜が満開で、日曜で大安というこれ以上ない絶好の日だったと記憶しております♪ただ残念なのは、あの日、あの時に戻れるなら数人お呼びしなかった関係者の方がみえて、それはそれで何故お呼びしなかったのだろうか・・・と悔やまれる住職でした♪

その日は、プリンちゃんを連れて再びイルミネーションを見に行った住職でした。こうして4/8が過ぎていくのであります。



蓮の花のお引越しです ♪

夏の暑い最中に咲く蓮の花を当山の放生池へと引っ越ししました。大きな入れ物に入れてた蓮を池へと流し、また綺麗に咲くのをプリンちゃんと待ちたいと思います。そこで感じる事は、泥中の蓮という仏教用語。まさにこの環境ですね。煩惱の汚れの中でも決して染まらず、清らかで純真な心や姿を保っている人の事を指しますが、対比された泥にも目を向けたい住職。泥無しでは蓮は綺麗な花を咲かす事は叶わない。綺麗な花に目が向きがちですが、花も泥も尊い存在なんだと住職は考えます。無理に清く咲こうとしなくてもいいですし、泥にまみれても大丈夫です。その中から、その人らしい花がきっと咲きますよ。



様々な花が咲きます ♪

蓮のお引越しに眼が奪われた住職ですが、境内のあちこちに様々な花が咲き誇っていました。花梨の花は毎年、桜が散った頃に、咲く花。丁度、住職が下積み時代の僧堂で一泊二日で休暇を貰って当山に戻った時に咲いた花。一泊したら僧堂へ戻らねばなりません。帰りたくない気持ちを押し殺して泣いて帰った記憶がございます。帰るところは僧堂以外に有りましようか？ちゃんと帰ったんでしょかね？応えは花に訊いてみましょう。

